

## 自己評価報告書(最終報告)

報告者

社会系コース/麻生 多聞

## ■平成23年度の目標に対する自己点検・評価

## I. 学長の定める重点目標

## I-1. 教育大学教員としての授業実践

本学の目的は、豊かな教養と教育実践力をもった教員を養成し、学校現場に送り出すことにある。このことを実現するには、教科専門・教科教育・教職専門等の各分野の授業が、学校現場の実践と関連性が保たれていることが必要である。あなたは、教員養成大学の教員として、本年度はどのような授業計画を立て実現しようとするのか、これまでの取り組み状況を総括し、具体的に示して欲しい。

## 1. 目標・計画

昨年度と同様、教員としての資質・能力を涵養するという文脈において、学生が将来教壇に立つ際に必要となる専門的知識を教授することを目指す。裁判員制度の導入が既に開始され、法教育の重要性が高まる現在、教育現場において高められた需要に応えることができるよう、実践の見地からみた講義を行うよう努めたい。とりわけ今年度の目標としては、法解釈や歴史解釈をめぐって価値判断の分かれる論点について、可能なかぎり客観的な解説ができるよう努めたい。

## 2. 点検・評価

「法解釈や歴史解釈をめぐって価値判断の分かれる論点について、可能な限り客観的な解説ができるよう努めたい」という課題について、2011年度はとくに重点的に取り組んだ。学界の通説であるからといって、特定の解釈がそのまま学生に押しつけられてよいものではなく、あくまでもひとつの解釈のあり様であるという注釈を付した上で、そのような解釈に違和感を覚える学生にも配慮した形での講義を心掛けた。

## II. 分野別

## II-1. 教育・学生生活支援

## 1. 目標・計画

本年度は、セクシャル・ハラスメント相談委員、学生総合相談室相談委員、学生連絡会委員を務めることを通じて、学生支援に努めたい。また、従来と同様に、教員採用試験対策として、学生から論作文の添削依頼があればこれに応じ、教員就職率第1位という本学の輝かしい実績の維持に貢献したいと考えている。

## **2. 点検・評価**

セクシャル・ハラスメント相談委員、学生総合相談室相談委員、学生連絡会委員を務めることを通じて、学生支援に努めた。また、教員採用試験対策として、学生からの求めに応じ、論作文の添削指導や面接の指導を実施した。

## **Ⅱ－2. 研究**

### **1. 目標・計画**

昨年度に引き続き、憲法9条の規範性を支えるものとしての市民の政治的能動性という観点からの研究に従事したいと考えている。戦後の日本における平和運動がその初期においては幅広い連帯を確保していたにもかかわらず、政治的文脈において構造的な分裂状態に陥り反連帯状態が固定化されてしまった経緯につき精査したうえで、党派的利害に左右されない連帯や統一を重視し、さらにnationalな範囲を越境する平和運動を実現するための方向性を模索することを主題とする。本研究の結果により、従来の日本の平和運動に欠けていた、nationalな平和・反戦運動の政治的結集の課題・展望が明らかになると考える。

## **2. 点検・評価**

2011年度は、上記目標を達成するためのインプット(読み込み)に終始してしまい、自らの理論として形にまとめる段階に至ることができなかった。ただし、学会報告を通じて課題点も見えてきたので、これを踏まえ、2012年度には必ず論文の形に仕上げたいと考えている。

## **Ⅱ－3. 大学運営**

### **1. 目標・計画**

本年度は、大学院教務委員としての職責を果たし、大学運営に貢献したいと考えている。

## **2. 点検・評価**

大学院教務委員としての職責を果たした。

## Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

### 1. 目標・計画

従来どおり、ゼミ生の模擬授業担当日には附属学校に赴いて参観し、また研究授業にも毎年参加するよう心がけたい。教員養成大学において、教育実践力を涵養する教育実習はきわめて重要な意味を持つものであり、その教育を附属学校に丸投げしてしまうのではなく、大学教員の立場から可能なかぎりそれに参画することが求められていると考える。本年度も従来どおりに附属学校と連携しつつ学生の教育実践力涵養をバックアップしたい。また、依頼があれば、附属学校のLFタイム講演も精力的に引き受けていきたい。

### 2. 点検・評価

従来どおり、ゼミ生の模擬授業担当日には附属学校に赴いて参観し、また研究授業にも毎年参加するよう心がけた。

## Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)